

共食の場の食育活動を応援！

～消費・安全対策交付金（地域での食育の推進）～
《都道府県を通じた取組》



具体的な応援内容を知りたいわ

○ 共食の場(こども食堂を含む)を試験的に実施してみたい！

(交付対象：交付率1/2)

食材費(調理体験の教材、展示、食育の取組のための教材)
会場・機器借料、資料印刷費、講師謝金等

○食材費の上限額と交付率（共食の場の試験的实施）

	上限額	交付率	交付額
都道府県を通じた取組	100万円	1 / 2	50万円
都道府県域を越えた取組	300万円	1 / 2	150万円

○ 共食の場(こども食堂を含む)に地域の農林漁業者や食文化・郷土料理に詳しい者を招いて食育をしたい！

(交付対象：交付率1/2)

講師謝金、会場・機器借料、資料印刷費、啓発資材作成費
食材費等

○食材費の上限額及び交付率（農林漁業者を招いた食育）

	上限額	交付率	交付額
都道府県を通じた取組	50万円	1 / 2	25万円
都道府県域を越えた取組	150万円	1 / 2	75万円

○ 共食の場(こども食堂を含む)に食材を提供する地元の農家をみつきたい！

(交付対象：交付率1/2)

調査員手当、資料印刷費等

○ 地域における共食の場(こども食堂を含む)のニーズを把握したい！

(交付対象：交付率1/2)

資料印刷費、集計賃金等

新しく共食の場を立ち上げて行う食育活動、活動休止又は縮小等している既存の共食の場を再開して行う食育活動を応援します！



具体的な取組事例はありますか

創意工夫をしながら共食の場で食育活動をしているよ。下の事例を見てみよう！



<こども食堂での事例>

「みんなの食堂」の運営

(実施主体 青森県（令和元年度）)

<取組と効果>

- 「みんなの食堂」をモデル的に運営し、共食の場の提供による効果を実証することで、民間団体等の自主的な取組を促すとともに、共食の機会の増加や、食育の場の拡大につながった。
- 「未利用農産物発生状況等調査」の実施により、未利用農産物の共食の場での利用可能性を検証。また、産地直売所、こども食堂等それぞれにおける具体的な課題が明らかになった。



調理講座



食事の様子



地元の野菜たっぷりカレー

<支援事項>

会場借料、啓発資材作成費、旅費、通信運搬費、保険料

<共食の場での事例>

共食の場を活用した朝食摂取や国産・県産食材活用の推進

(実施主体 大分県（令和2年度）)

<取組と効果>

- 「おおいた食（ごはん）の日」イベントや研修会の開催、学校や民間団体が実施する共食の拡大事業により、県民の共食の機会の増加につながった。
- 共食の場を通じて学生をはじめとした若者世代朝食摂取に向けた各種啓発を行ったほか、共食の場における地域産食材の活用により、県民の国産や地域産の食品選択に対する意識向上も図ることができた。



プログラム看板



学生による展示ブース



食事の様子

<支援事項>

会場・機器借料、啓発資材作成費、消耗品費、役務費、食材費、謝金、旅費、普及宣伝費、資料印刷費、等

<食育ツールの詳しい情報> 農林水産省HPでご覧になれます。

<チラシのお問合せ先>

〇〇〇県〇〇部〇〇課

電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

消費・安全対策交付金のうち地域での食育の推進

検索